

はていはてい
HATI-HATI

HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。

2024 外国人県民による多文化共生日本語スピーチコンテストで当法人スタッフのホンさんが一般の部で奨励賞、ダイキさんが中学生・高校生の部で特別賞をいただきました。8月29日に吉岡高浜市長を表敬訪問し、結果を報告しました。



詳しい結果はこちらから

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/527276.pdf>

多文化の種から新芽が続々と出てきています

公益社団法人 트레이ディングケア 代表理事 新美 純子

最近、仕事やプライベートで中部国際空港に行くことがよくあります。空港を見てみると、多くの日本人が外国の人たちの送迎をしているのを目にします。ある人は、「気を付けて行って来ね」と見送り、またある人は「また会いに行くね」とお別れの見送り。またある人は「おかえり〜」と到着出口でお出迎え。そしてまたある人は「ようこそ、日本へ」と日本へはじめてきた外国の人たちのお出迎え。ほんの数年前までは、プラカードに外国の人の名前を書いた人が、業務的に送迎している様子を見ることがほとんどでしたが、今では、友人、知人を持つ外国の人が増え、その人たちの送迎の明るい声を聴くことができます。このような様子から、日本人と関係がとれている外国の人たちが増えて来ていると実感します。

多文化共生が叫ばれるようになって、20年以上。なかなか進んでいないと言われていますが、実は、地域や会社の中では、草の根的に交流が広がり、種から新芽が出てきていると感じます。先日、高浜市のレガッタ大会に参加をしました。ベトナム人のディンさんが一般男子の部で参加をしました。早朝だったにもかかわらず、会社の同僚や先輩がディンさんの応援に来ていました。ディンさんと和気あいあいと話している姿がとても素敵でした。頑張っているディンさんを見て、来年は、会社でチームを組んで出よう！！なんて話も出ていました。きっと日常もこんな感じなんでしょうね。

多文化共生を進めていくのは、トップダウンではなく、こうしたボトムアップが大切なんだろうなぁと改めて感じている今日この頃です。

皆さんは外国語を学ぶとき、どのような方法が効果的だと思いますか？多文化共生コミュニティセンター「つなぐ」には様々な国の方が日本語を学びに来ます。そこで、来てくれる方に「どうして日本語を勉強していますか？」と質問すると、やはり一番多いのは「仕事のため」です。学生なら「学校の勉強のため」です。しかし、そのような理由だけでは長く続けて来てくれる方は少ないと感じます。長く通っている方は、日本語のレベルに関わらず、「ここにいる人達と話したい」と思って来てくれる方が多いと思います。日本語学習だけではなく、その他の相談にも来てくれます。語学を学ぶ動機付けには「**道具的動機付け**」（試験合格や就職など、ある具体的な実利的目標のために言語を学習をする）と「**統合的動機付け**」（自らが学ぶ言語を使うコミュニティ・文化について興味があったり、もっとその言語でコミュニケーションをとりたい、ときにはコミュニティのメンバーになりたいというような、個人的な動機で言語を学ぶ）があります。全体的には統合的動機付けのほうが学習の成功につながりやすいと言われているようですが、場合によっては道具的動機付けの方が有効な場合もあるようです。ただ、就職したいなどの「道具的動機付け」で言語学習を始めたとしても、学習の結果、もっとその話しているコミュニティについて理解したいといったような、「統合的動機付け」が出てくることもありますし、モチベーションは上がったたり下がったりして、常に変化していくものです。

「つなぐ」では学習者のモチベーションを上げるために、土曜日日本語クラスで「ワールドカフェ」という時間があります。テーマを決めてグループで話し合い、発表します。また毎月お誕生日会を開催し、お菓子を食べながら自由に話す時間があります。人によって学習方法や動機付けは違いますが、周りの働きかけによって学習のモチベーションを上げることができます。職場でも誰かと話したいという気持ちを大切に日本語学習を進めてみてはいかがでしょうか？

Web:モチベーション研究の変遷①：道具的動機付け・統合的動機付け



8月17日

驚きNIPPON滞在記



2024年度 外国人県民による
多文化共生日本語スピーチコンテスト
主催：愛知県



8月17日（土）愛知県図書館で「多文化共生日本語スピーチコンテスト」に初めて参加しました。大勢の前で約5分間スピーチしました。もちろん緊張しましたが、皆様の温かい声援に支えられ、自信を持って発表することができました。とてもいい経験でした。

そのスピーチでは、日本に来る前と来てからの私の考え方の変化を話しました。一番影響を受けたのは日本の良い教育方法と優しい職場に出会い、同僚と友達になれたことです。なので、今は日本で長く住みたいと考えています。皆も自分らしく生きていくためにどのように考え選択をしていきますか？ ホン



つなぐつながる楽しい話～オーガニック食品～

デンマークのスーパーにはオーガニックの食品がたくさん置いてあり、通常の食品と隣同士に置いてあるので誰でも手に取りやすくなっています。デンマークは1987年に政府指導のオーガニックラベルを導入した最初の国です。デンマークのオーガニック生産は、生産地から加工施設、さらにスーパーの陳列棚に届くまでに食品検査が行われています。少し古いデータですが、2017年のオーガニック市場の小売り売上高のシェアは1位：デンマーク（10%）、2位：スウェーデン（8.6%）、3位：スイス（8.4%）で、デンマークが1位でした。

（参考：
https://foodnationdenmark.com/wpcontent/uploads/FS_March19_Japan_Organic.pdf）



編集後記

Instagram
はじめました！



@TSUNAGU_TAKAHAMA

facebook
最新情報は
こちら



高浜市では、町を歩くと、本当に大勢の外国の人たちに会います。特に東南アジアからの20代の人が増えている印象です。若い働き手が日本社会で活躍をしてくれていることに感謝です。

新美

公益社団法人
トレイディングケア

〒444-1303
愛知県高浜市小池町6-5-6
TEL 0566-57-7700
FAX 0566-55-1305